

## 現代民俗学会 第 25 回運営委員会議事録

日 時：2014 年 3 月 29 日(土)10：30～12：30

場 所：成城大学 32B 教室（3 号館 2 階 B 教室）

出席者：及川、門田、武井、中野、宮内、室井（13 人中 6 人出席、4 人委任状）

### 1. 年次大会

#### (1) 個人発表（査読担当委員）

査読委員より、下記の 4 人の発表決定が報告された。

発表順	氏名	所属	題目
①	姚琼	神奈川大学	祭祀儀礼の変化と持続 —疫病退散儀礼を担う人々の視点から—
②	櫻井知得	筑波大学	伝統工芸の現代的創作 —「高崎だるま」を事例に—
③	白松強	九州大学	現代中国における文化遺産化による村落祭祀の変容 —河北省武安市固義村の村祭「捉黄鬼」を事例として—
④	小泉優莉菜	神奈川大学	長崎県生月島におけるかくれキリシタンの唄おらしょ—伝承と 信仰観の変化についての一考察—

#### (2) 当日プログラム案

年会当日(2014.5.18 於 お茶の水女子大学大学本館 306)のプログラムが下記の通り提案され、承認された。控え室、開票作業を行う部屋などの確保も確認された。

時間	発表・総会・シンポジウム		選挙
9：30	受け付け開始		投票開始
10：00	発表①	1 報告あたり質疑込み 25 分	
10：30	発表②	+準備 5 分	
11：00	発表③	座長=小熊 誠	
11：30	発表④		
12：00	総会(第 1 部)		(監査選出)
12：45	休憩		
13：30	シンポジウム開始		
	シンポジウム休憩		
	シンポジウム再開		投票終了・開票開始
17：00	シンポジウム終了		
	総会(第 2 部)		開票結果報告
	閉会		選出者による第 26 回運営委員会（会長選出など）
	懇親会へ		

#### (3) 確認事項

- 各委員会の総会資料：5 月 8 日までに総務委員会へ提出。
- シンポジウム配布レジュメ：開催週のはじめ頃までに総務に提出。
- 懇親会：総務が担当。

### 2. 選挙管理委員会

選挙管理委員長を武井基晃委員に委嘱、委員長提案により委員（及川祥平、尾曲香織、松岡薰）が組織された。

### 3. 会員異動

学生会員1名からの退会願い(2014年3月12日受理)について未納分(3年間=9,000円)の完納を確認した上で、承認された。

### 4. 報告

#### (1) 3年以上未納者の会員身分について

- ①昨夏に書面送付、今春に個別にメール送信（但しメールアドレス不明も数名）。該当者3名（一般2名、学生1名）に対し、会員身分の失効（会則第8条）について再度文書を送付した上で、それでも連絡のない場合は退会とすることが確認された。
- ②海外在住のために会費が振り込めない会員について、国際郵便為替によるドルやユーロでの会費の確定など、引継ぎ案件とすることが確認された。

#### (2) 会誌発送作業について

- ①4月初旬に発送作業を行う。

2年(2013, 2014)未納の会員=最新号と会費請求の文書を同封して送付。

3年(2012~2014)未納の会員=最新号は送らず、会費請求の文書(会員身分に言及)のみ送付。

- ②寄贈先機関の増減

2013/4/15 神戸大学附属図書館総合・国際文化学図書館から、送付中止の申し出。

2013/7/8 関西学院大学文学部文化歴史学科地理学地域文化学より、追加寄贈の依頼。

#### (3) 会誌販売について

- ①今年度会誌売り上げ冊数（暫定）

1号：4冊、2号：2冊、3号：3冊、4号：3冊、5号：5冊、=合計17冊。

- ②（株）雄松堂書店からの問い合わせに対し一般販売価格の8割の2,000円（研究会などの対面販売価格）を提示したところ1~5号各1冊の注文があった。入金は6月頃になる見込み。

#### (4) 対外各種申請（日本学術会議協力団体・電子公開(CiNii)・指定学術刊行物）

- ①日本学術会議協力団体への加入：昨夏に提出したが、事務局によるチェックの段階で条件（会員の研究者率50%以上）に満たなかったため申請を見送った。

- ②電子公開(CiNii)：国立情報学研究所 NII-ELS事務局で審査中。

- ・審査通過後、論文・研究ノート執筆者（1号～4号）に電子公開の確認書（CiNii掲載or当会サイト掲載or掲載せず）を送付することが承認された（公開については、1号執筆者には当時の編集委が確認、2号以降は投稿規定に明記）。
- ・電子公開について、学会記録・研究会記録・発表要旨・特別寄稿・コメント等の電子公開も求められた。これについてはそれぞれの執筆者ごとの対応が課題であることが確認され、引き継ぎ案件とされた。
- ③指定学術刊行物：最新の会計資料（報告・予算案）を整え、速やかに郵便局に申請する。

(5)これまでのメール審議・報告

- ・新入会員承認（2013年12月～2014年2月）

氏名	所属 (入会当時)	研究テーマ	区分	入会 年度	承認
松村薰子	呉市海事歴史 科学館（大和ミ ュージアム）	民俗学、町おこし研究	一般	2014 ～	2013年 12月
俵木悟	成城大学	民俗芸能、文化政策	一般	2014 ～	2013年 12月
櫻井知得	筑波大学人文・ 文化学群	信仰を主なテーマとし、人が何かを信じ、それを基に行 動するという点に注目し、現代における多様な信仰につ いて検討したい。また、そのような多様な行動の基とな る人間の欲求のあり方を、消費行動に注目して検討	学 生	2013 ～	2014年 1月
南波千浪	アニメーショ ンのディレク ター&プラン ナー	学生時代の専攻は哲学（現象学）です。意識と行動の 関係に関心があり、動物行動学をやり、そこから、社 会学、人類学、民俗学へと興味が広がっていきました。 今は意識と行動の現象としての民俗に強い関心を持っ ています。	一般	2014 ～	2014年 1月
小泉優莉菜	神奈川大学	現代社会において、「かくれキリストン信仰」がどのよ うにおこなわれ、また、信者はどのような信仰観をもち、 信仰活動を続けているのか	学 生	2013 ～	2014年 2月
菊凜太郎	筑波大学	儀礼伝承論。南西諸島における葬送儀礼がどのように伝 承され、また変遷してきたのかを明らかにしつつ、それ らが人々の生活にもたらした影響について追求してい くことを研究課題とする。特に葬墓制に着目しながら研 究を進める。	学 生	2014 ～	2014年 3月

・2013年度の入・退会者

入会：20人（一般=6人、学生=14人）

退会：1人（学生=1：会費完納の上での退会）

3年以上未納につき退会処理：7人（一般=6人、学生1人）

(6)会誌6号について

編集委員会から誌面構成・刊行費について報告され、了承された。

論文に対するコメントのあり方について意見が出された。

『日本民俗学』等の研究動向にどれだけ言及されたかのチェックも課された。

(7)夏季研究企画について

今期運営委員会の職掌である夏季の研究企画について、日本民俗学会談話会との共催が報告され  
た。